



校訓：進取向上

新しい時代を切り拓いていくたくましさを持ち
自ら進んで常によりよい方向に向かって努力する

学校教育目標：ふるさとを愛し 人間性豊かに たくましく生きる生徒の育成

- ☆ ふるさと広瀬とともに生きる：広瀬に貢献しようとする意欲を持つ
- ☆ 人権感覚を磨く：自分の良さを認識し、他者を尊重する
- ☆ 自ら課題を見つけ解決しようとする：あきらめず挑戦する、他者と協働する

めざす学校像

- ◇ 地域に目を向け、地域とともに歩む学校
- ◇ 誰もが安全・安心を実感でき、心落ち着く学校
- ◇ 一体感があり、躍動感があふれる学校

めざす生徒像

- ◇ 視野を広げ、自ら進んで考え実行する生徒
- ◇ 感性と想像力を磨き、仲間とともに向上する生徒
- ◇ 創造力に富み、様々なことに挑戦する生徒

めざす教職員像

- ◇ 保護者や地域との信頼・協力関係を大切にする教職員
- ◇ 柔軟な姿勢で、協力して校務を遂行する教職員
- ◇ 探究心をもち、常に自らを磨き、創意工夫する教職員

学校経営の重点

○ 地域とともに学び発展する学校づくりの推進	○ 自他を大切にする心を育む教育活動の推進	○ 自ら課題を見つけ解決しようとする力を育む教育活動の推進
・学校運営協議会委員の意見をはじめ、地域からの声や地域住民とのつながりを大切にし、地域の活力となる学校づくりに努める。 ・社会教育との連携により、広中ブランド（あいさつ、マナーのよさ、よく働くこと、地域行事への参画）の実現に向けた取組の充実に努める。 ・生徒とかかわる大人が共通認識をもち、育ちを支えることができるよう、教育活動や生徒の姿について積極的な情報発信に努める。	・それぞれの個性を認め合い、よりよい人間関係を作ることができるよう、学校の教育活動全体を通じて生徒の人権感覚の育成に努める。 ・生徒の主体性を大切にした生徒会活動や所属感のある学級づくりにより、自尊感情・自己有用感が育つ学級・学校づくりに努める。 ・授業や生徒会活動などで、人の意見がしっかり聴ける（否定しない）、自分の意見が安心して言える「伝え合い活動」の充実に努める。	・異学年の生徒との対話、高校生や大人との対話のなかで、他者と一緒に、また他者の意見から、自分の生き方やふるさとの在り方を考える活動に努める。 ・学校図書館やICT機器を積極的・効果的に活用することで、生徒の「主体的・対話的で深い学び」につなげることができる授業づくりに努める。 ・家庭学習等で、生徒が「もっと知りたい」「理解したい」と考え、粘り強く課題解決に取り組む力を身につけることができるような課題の設定に努める。

大切にしたい5つの「こと」

- ☆ 新しいことに興味を持ち続けること(好奇心)
- ☆ 結果がわからなくても挑戦すること(冒険心)
- ☆ 失敗してもあきらめずに努力すること(持続性)
- ☆ 何事もポジティブに考えること(楽観性)
- ☆ こだわりすぎずに柔軟な姿勢をとること(柔軟性)